

2018年3月16日

2017年度第3回研究会（通算第70回）

研究発表

犬学への招待

エンゼルペットクリニック 名越譲治

- イヌについての総合的な科学
- イヌとは何か オオカミとの関係
- イヌの起源
- イヌの習性、行動学、認知能力
- 人との関係
- 精密な観察と理論に基づく科学
- 野生のオオカミは群れでは暮らさない
- アルファはいない
- 野生のオオカミは家族単位で暮らす
- 父母と子ども、時には独身の伯母
- 繁殖は一組だけのペア
- 成長すると自分の家庭を作るため群れを離れる
- イヌは飼い主に協力したい、その命令に従いたいという独特な欲求を抱いている
- イヌはヒトと一緒に働きたい
- オオカミとイヌが狩りや育児で協力しあうことはよく知られている。しかし、全く異なる生物種、しかも遺伝子レベルで緊密な関係にない生物種に協力するというこはイヌの脳内で何かが根本的に変化したことを意味する
- ヒトとイヌの関係は「社会的愛着」である
- これは母と子の強い結びつきを表すために心理学者が1970年代に使い始めた用語
- 飼い主が離れると「分離不安」をおこす
- 飼い主か別の犬か、いずれかに行く選択肢が与えられた場合、生後4ヵ月のイヌでも飼い主を選ぶ

その他

次回の研究会は2018年6月22日の予定。